



Chartered April 11.1998

THE Y'S MEN'S CLUB OF ASHIYA

Address : Tomoko Kuwano 4-16-23-401, Motoyama-nakamachi, Higashinada-ku, Kobe
 Mail : kuwano-t@nifty.com Phone : 078-431-8418 658-0016, JAPAN
 URL : <http://www.kobeymca.or.jp/ys/ashiya/>

主 題

国際協会会長 「心新たに立ち上がる」
 藤井寛敏 "Once More We Stand"
 アジア地域会長 「心新たに立ち上がる」
 高田一彦 "Once More We Stand"
 西日本区理事 「飛翔たとう ワイズスピリットを胸に」
 仁科保雄 "Forward with Y's men's spirit
 in our hearts"
 六甲部部长 「ワイズの心を、ワイズの種をまこう」
 安行英文 "Show Y's care,
 Sow the seed of Y's"
 芦屋クラブ会長 「各々のタレントを發揮しよう」
 桑野友子 "Your-God-Given-Talent,
 Let it Shine !! "

会 長 桑野友子
 直前会長 飯田義雄
 副 会 長 堤 清 都筑省三
 書 記 堀江哲次 羽太英樹
 会 計 羽太英樹 堤 清
 監 事 都筑省三 田舎庸男
 連絡主事 橋本 潤
 六甲部地域奉仕・環境事業主査 飯田義雄

2

Feb. 2011
 第 165 号

タイム・オブ・ファストを覚えて

地域奉仕事業担当 上野恭男

今月の聖句

初めに、神は天地を創造された。地は混沌であって、闇が深淵の面にあり、神の霊が水の面を動いていた。神は言われた。「光あれ。」こうして光があった。

創世記 1:1 - 3

2月第1例会プログラム

- と き： 2011年2月16日(水) 19:00 ~ 21:00
 と ころ： ホテル竹園芦屋 3階
 司 会： 田舎庸男 (敬称略)
 受 付： 堀江哲次、吉岡浩一
1. 開会点鐘 桑野友子会長
 2. クラブソング斉唱 一同
 3. 聖句朗読 羽太英樹
 4. タイワークキャンプ参加リーダーの挨拶
 5. 食前感謝 柏原佳子
 6. 会食・歓談 一同
 7. 2011-2012 役員の決定 都筑省三次期会長
 8. 議事・報告
 - 1) 第2例会議事録承認 桑野友子会長
 - 2) 各事業委員報告
 9. YMCAニュース 橋本潤連絡主事
 10. 誕生祝い 桑野友子会長
堤 和子
 11. ニコニコ献金報告 福原吉孝(ファンド)
 12. 閉会点鐘 桑野友子会長

ワイズメンズクラブの活動のなかで、しっかりと定着しているのが TOF(タイム・オブ・ファスト)です。芦屋クラブは国際への送金を通して、飢餓状態の人々を常に覚えて TOF 献金に励んでいることを嬉しく思います。食事を節約して支援をする慈善行為のおひざ元でもあるエジプトでは、2月が断食月(ラマダン)ですが、政争の行方が気づかれます。

CS(コミュニティサービス)献金は、西日本区を通し、みどり福祉作業所など福祉施設への支援を行っています。タイガーマスク現象で、多くの善意のランドセルが孤児施設に贈られましたが、ワイズメンズクラブも同じ気持ちを持ち、各地の施設へ善意をお届けしているのです。

FF(ファミリーファスト)は家庭での断食を覚えて献金をしますが、これも国際を通しての支援活動の一つです。

芦屋クラブでは2月例会の食事は控えめです。世界の多くの困難な中で飢えている人々を気遣い、ささやかな支援ができますように祈りたいと思います。

また、地域奉仕事業ですが(芦屋みどり福祉作業所)への支援も忘れてはいけません。南芦屋浜での施設建築を控えており、「みどり基金」への更なる支援をお願いします。

1月例会出席表			(敬称略)
第1例会出席者	例会出席率	BF切手 (累計)	
メンバー 14名	出席者 14名	135 gm (1,782gm)	
ビジター 2名	メイキャップ 2名	柏原、桑野、町永、	
ゲスト 名	合 計 16名	吉岡	
メネット 名	在籍者 17名	ニコニコ (累計)	
合 計 16名	出席率 88.9%	14,433 円 (88,680 円)	

1月第1例会報告

日時： 2011年1月19日(水) 19:00～21:00

場所： ホテル竹園芦屋3階

司会： 飯田義雄メン (敬称略)

出席者： 飯田、田舎、井上、上野、柏原、加輪上、桑野、
都筑、中野、羽太、福原、堀江、橋本、渡辺(14名)

ゲスト： 安行六甲部部長、 斉藤六甲部EMC主査(2名)

本年第一回例会は久しぶりに安行六甲部長、斉藤EMC主査を迎え今までもゲストとして例会に出席していただき皆が待ち望んでいました中野雅弘メンの入会式が行われました。



選ばれた聖句は新年にふさわしく、又決意を感じる詩篇96:1～2でした。

スピーチは堀江メンの「オーバーアマガウ受難劇」を観劇された感想をプロジェクターを使い解説いただき感銘を受けました。世界各地で行われる受難劇で最も有名な南ドイツのオーバーアマガウの歴史も370年前にさかのぼります。1633年にペストが流行し蔓延、村人は悔い改めのため今後10年に一度、世の終わりに至るまで、必ずキリストの受難劇を演じると誓った時が起源でそれ以降西暦の最後の数字が0となる年が上演されるようになったとの事です。普段は村民5～6千人の小さな村

がその年だけは4月から9月まで日曜を除くほぼ毎日5000人位収容の劇場に観客が詰めかけるとの事です。出演者は村人かその関係者し



か出演できず皆素顔で出るのでシーズン中は村にひげを伸ばした人が増えあちらこちらにユダ、バラバ、ペテロを見かけるとの事。伝統があるだけに田舎芝居とは違い迫力があり、上演時間も延べ6時間に及ぶのと生身で演じられるのでその場に居る臨場感に圧倒されたそうです。2020年にはワイズの仲間と観劇に行きたいものです

次期会長に就任予定の都筑メンからのご挨拶がありました。お忙しい中引き受けていただき感謝ですが我々一人一人が今まで以上に支えていかなければならないことを皆で確認いたしました。新しい仲間を迎え新鮮な気持ちで充実した例会が開かれたと感謝いたしておりますが今年一年皆で多いにワイズライフを楽しみましょう。
飯田 義雄

どうぞ よろしく (新入会員紹介)



新入会の中野です。ご勧誘頂いたのは渡辺倫子さんで、ご主人とある上海でのシンポジウムでお会いしたことがきっかけです。日本技術士会という技術資格者の集まりがありまして、その会と上海市及び中国の大学(同済大学)との共同研究の

締結式、ならびにちょうど開催中の上海万博を視察(見学)するという団体ツアーでした。

芦屋に在住して15年ほどになりますが、大阪生まれの私にとって芦屋は今後未永く住む第二の故郷となります。大学時代まで関西で過ごしたのち、東京を中心に東日本で仕事をしてきました。転勤が何度かありましたが、仕事と家族生活はそれなりに楽しくもあり充実したものでした。しかし、出身地の関西に帰ってきてからは、そろそろ年齢的にも会社(仕事)を離れて、地元に関わり役立てるものをしたいという気持ちになりました。そのような折、本クラブのことを渡辺さんのご主人からお聞きしたのがきっかけです。

本クラブはYMCAと関連が深いことを最近知り、キリスト教の聖書を読んだことは無かったので最初は戸惑いました。しかし、私が通った小学校は大阪市内の淀屋橋にありまして、土佐堀にあったYMCAを思い出しました。一度、夏休みにYMCA主催のキャンプがあり、おそろいのTシャツまで作ったのに体調がすぐれず参加できなくて悔しい思いをしたことを思い出しました。

また、最近、機会があり芦屋市の都市計画審議会委員を拝命しました。「住民」代表の委員ですので、

芦屋市長に市をより良くするための提案が出来る楽しみにしています。さらに、本クラブは、

YMCAとのつながりから海外とのネットワークも広がるようです。地域へ貢献しつつ、さらに海外とのネットワークで広がりを持てればと思っています。

なお、私は、まだしばらく現役として仕事をさせてもらっていますので、十分な活動は出来ないかも知れませんが、出来るだけ皆様にご迷惑にならないように活動したいと思いますので、なにとぞよろしくお願い致します。

中野 雅弘



神戸YMCA新春YY(わいわい)フォーラムに参加して

2011年1月8日 神戸YMCAにおいて、YYフォーラムが開催された。Y'sメン、余島リーダ、YMCA幼稚園の先生、西日本区から来賓等総勢150名の参加者で大変、盛り上がった雰囲気で行われた。冒頭に開会礼拝、来賓挨拶があり、次いで創立125周年のアピールがあり、DVDの上映で125周年の意義、歴史を確認することが出来た。その後各グループに分かれ、未来の活動の目標、夢等をディスカッションし、グループ発表を検討した。

各グループは、メンバーがYMCAの若いリーダ、Y'sメン等、老若男女78名で行い、まず、すごろくを行ったのであるが、YMCA125周年の意義、それぞれの時代を振り返るように工夫され、思い出、知っていること、YMCAの出来事をメンバーが語り、情報交換ができ、知らなかったこと、なるほど・と思う事等が沢山確認出来た。さらにグループ内で、未来へ向かっての夢、テーマ、目標などを検討したのであるが、それぞれの思い、未来への目標、夢を語り合った。若いメンバーの考え、熟年の思いが本音でぶつけ合い熱心なディスカッションとなり、小生の属するグループは、壮大で夢のある宇宙で活動するYMCAを発表する結論となり、カラーペンで書き込まれたポロシャツが美しく出来上がり、興味深く面白くて楽しい時間があったという間に過ぎた。

その後、ユース委員の司会進行でY'sの活動、ボランティアリーダの活動等発表された後、11組に分かれたグループの代



表者2名が発表した。舞台には、それこそ、老いも若きも楽しそうに、嬉しそうに明るい笑顔で上がり、順次発表が行われ、世界をめぐる、いやもっと壮大な宇宙で活動するYMCA、手を繋ぎ、ボランティア活動でリーダシップを発揮するYMCA等、会場も明るい笑いに包まれ楽しい雰囲気となった。総評が行われ、最後に20名程の余島リーダ会メンバー全員が舞台上がり、キャンプソングを高らかに会場全員で歌い、楽しくも意義のある会が終了となった。今回、YYフォーラムを通じてリーダ等若い方々と語り合い、若い方からパワーを頂くことが出来たように思う。また、このような若い方々がいる事に頼もしく感じ、若者も捨てたものではない、やるな〜と強く思った。我々自身も明るい未来に向かってパワーアップしていきたいと再確認した。今後の益々の活動を期待したいと強く思った次第である。 福原 吉孝

2011年留学生交流会

平成23年2月2日(水)の夕べ、YMCAの留学生10名を迎えて、芦屋ワイズメン・メネット16名・神戸YMCAのユースブラザの若い男女4名と、いつもエンターテイナーを演じていただいている神戸ポートの大野勉メン及び引率の桜井英治氏(YMCS)を加えた総勢32名がブルーミンメドーに集った。

パーティー開場のブルーミンメドーは毎年のことながら渡辺倫子メンのご厚意により休日のレストランを提供いただいたものである。感謝感謝。筆者夫婦が到着した6時近くの間では、既に、芦屋ワイズの面々が持ち寄った今夜のご馳走がテーブルに満載されていた。楽しい夕食が期待される。本日はソフトドリンクだけでなく、ビールも解禁ということらしく、パーティーの開演が待ち遠しい。留学生の到着が拍手で迎えられ、いよいよ開演となった。まずは、司会の加輪上メンの中国語混じりの挨拶に続き、桑野会長の歓迎挨拶、乾杯となり、会食が始まった。今回の会食はポトラック(POTLUCK)の趣旨を生かすべく、全員が持ち寄ろうということであったので、和洋中のご馳走が集まった模様である。因みに、その名を挙げると、「サンドイッチに始まり、エビチリソース、酢豚、オープンサンド、チキン・豚の料理、お寿司、551の豚まん、ハム、竹園コロケ、ブルーインメドースペシャルカレーにアボカドディップ野菜スティックサラダ、卵焼きにポテトサラダ、デザートとしてはチョコレートに豆大福など」がテーブルに溢れ、目を見張るばかりのご馳走であった。

これを見て、全部食べきれののかなと、年寄りはいささか懸念をしていたが、心配する事なけれ、終わってみると、ほぼ完食となっていた。

パーティーの半ばに、大野勉メンの提案で歌唱タイムとなり、大野メン作詞作曲の「神戸美味しいもの巡り」を唄うことになり、留学生達を含め、ほぼ全員が大声で声を和して唄った。その後は、良く唄われる「翼をください」「上を向いて歩こう」等あり、楽しく、程々にお腹も空いた歌唱タイムであった。今年で、6年目の交流会であり、留学生の内訳も毎年少しずつ変わってきており、中国の留学生が主流であることは変わらないが、韓国の留学生がいなくなり、タジキスタン、タイ、コートジボワールからの留学生といったところであった。韓国にとっては、日本はもう学ぶところない国となっているのかも知れない。中国人留学生については、昨今の中国の勢いであろう、誰も元気が良く、その服装も6年前とは見違えるばかりで、



その若さ溢れる様子に羨ましさを感じた。留学生の志望は、経営者、外交官、ファッションデザイナー、エンジニア等々希望に溢れており、最近のアジアの元気良さを目の当たりにする感じだった。一方、日本の若者達である4人のユースブラザ達は、いささか控え目には写るが、話してみると、その考えはしっかりとしており、目上に対する気遣いなども十分に出来ており、日本の若者もちゃんと育てていることに安心と誇りを心から感じた。夜も、更け、解散となり、本年も楽しい思いを胸に、明日に希望を繋いだ次第である。 田舎 庸男

みどり作業所だより

1月30日みどり作業所でのバザーに上野、柏原、桑野の3名が参加、上野メンが用意されたタオル40枚を芦屋クラブの名前で寄贈しました。

大澤メンからの報告「予て申請していた国と県からの助成金が下り、芦屋浜のみどり作業所は今年3月から1年かけて4階建ての本格的な作業所に生まれ変わります」

ワイズメンズ藤井寛敏国際会長ご夫妻とエチューカクラブの皆様との写真

(後列の左から2人目が昨夏に日本に来られたスコットさん。)



1月第2例会・議事録 (抄)

日 時: 1月26日(水) 19:00~21:00

場 所: 芦屋市民センター 207号室

出席者: 上野、柏原、桑野、羽太、福原、堀江、吉岡、橋本 (8名)

報告・協議・確認事項

1) 今後の例会予定

2月第1例会 2月16日(水) TOF 例会

3月第1例会 3月16日(水)

スピーカー: 賀川督明氏

4月第1例会 4月20日(水) スピーカー: 未定

5月第1例会 5月18日(水) スピーカー: 畑儀文氏

2) 2010/11年 12月度会計報告(羽太会計) を承認。

3) 例会会費に関して

柏原、上野メンにて原案作成願い、2月例会で検討する。

4) 次期芦屋クラブ会長および次期六甲部役員の承認

次期芦屋クラブ会長: 都筑省三

次期六甲部Yサ-ユース主査: 桑野友子

次次期六甲部長: 2月中旬までに決定

5) タイワークキャンプ参加者支援

10万円予算化、金額の通知あり次第支払う。

6) 次期会長・主査研修会

3月12日(土) - 13日(日) 新大阪チサンホテル

7) 今後の行事

さんだクラブバレンタインコンサート 2月11日(金・祝)

大阪なかのしまクラブチャリティコンサート 2月19日(土)

島の音楽会スペシャルコンサート 2月26日(土)

水野総主事と現/次期会長懇談会 2月28日(月)

第2回六甲部評議会 3月20日(日)

六甲部役員引継ぎ式 5月21日(土)

西日本区大会 6月11日(土) - 12日(日)

8) 周年行事

神戸YMCA125周年 5月7日(土)

神戸西クラブ50周年 5月14日(土)

9) エチューカクラブ訪問

10) 芦屋さくら祭り(4月2日 3日)

羽太 英樹

YMCAニュース

橋本連絡主事

2011年度年間聖句、決定

「希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。」

(ローマの信徒への手紙 12章 12節)

冬休みプログラム、無事終了

昨年未からの冬プログラムは、今年は雪にも恵まれて無事終了。参加者数は昨年度より増加したが、一昨年には及んでいない状況で、景気の影響も受けているのかもしれない。

125周年キックオフ、新春ワイワイフォーラム開催

1月8日(土)に125周年キックオフイベントとして「新春ワイワイフォーラム」が開催、150名ほどの参加者。

中・西日本地YMCAユースバスケットボール大会、開催

1月22日(土)~23日(日)に、西宮市の兵庫県立総合体育館において、中日本・西日本地区YMCAのユースバスケットボール大会が神戸YMCAの主管で行われ、近畿地区中心に39チーム、リーダーも合わせて360名の参加者が日頃の練習の成果を發揮。三宮チームが優勝。

訃報

1月23日(日)に、維持会員、神戸西ワイズメンズクラブのメンバー荒木潔さんが、天に召されました。79歳でした。

・今後の予定

神戸YMCA創立125周年記念日礼拝及び記念式典

日 時: 5月8日(日)午後2:00~5:00

場 所: 神戸YMCAチャペル 及び 大体育館

ユースプラザKOBEBEASTプログラムのご案内

第22回フリーマーケット

日 時: 2月19日(土) 11:00~16:00

編集後記: 新春 YY(わいわい)フォーラム、留学生交流会で、若い人たちとの交流を楽しみました。梅も咲き出しました。もう春です。若者に負けずに元気にワイズ活動を楽しみたいものです。

堀江 哲次